

広域避難者支援連絡会 in 東京 2021 年度事業報告書

2022 年 6 月

広域避難者支援連絡会 in 東京

1 連絡会の概要

- (1) 名 称 広域避難者支援連絡会 in 東京
- (2) 設立日 2013 年 5 月 22 日
- (3) 事務局 広域避難者支援連絡会 in 東京 事務局
東京ボランティア・市民活動センター 内 担当：加納、品田、神辺
〒162-0823 新宿区神楽河岸 1-1 TEL 03-3235-1171 FAX 03-3235-0050
ホームページ <http://kouikihinan-tokyo.jimdo.com/>
メール kouikihinan@tvac.or.jp
- (4) 参加団体 14 団体。団体名は下記の通り（五十音順）。
荒川区社会福祉協議会
いたばし総合ボランティアセンター
AAR Japan[難民を助ける会]
こどもプロジェクト
金光教首都圏災害ボランティア支援機構
災害復興まちづくり支援機構
こくみん共済 coop<全労済>
中央労働金庫
東京足湯プロジェクト
東京災害ボランティアネットワーク
東京都生活協同組合連合会
東京ボランティア・市民活動センター
東京労働者福祉協議会
連合東京

2 連絡会の事業報告

(1) 総会の開催

- ・総会を開催し、2021年度事業計画及び収支予算等について審議した。

(2) 定例会の開催

- ・連絡会の構成団体が集まり、情報交換や企画検討を行う定例会を開催した。

<実績>

第1回 4/8、第2回 5/13、第3回 6/10、第4回 7/14、第5回 8/12、第6回 9/16、第7回 10/14、第8回 11/11、第9回 12/9、第10回 1/13、第11回 2/10、第12回 3/10

(3) 当事者団体との協働事業

①広域交流事業

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、毎年実施している「避難者と支援者によるふれあいフェスティバル」は中止となった。そのため、代替の交流会として、各地域のサロンをつなぐオンライン交流会を実施した。実施にあたっては、荒川ふるさとサロン、クローバーなります、むさしのスマイル、かながわ東北ふるさと・つなぐ会、えひめ311の協力を得て、各サロン会場をつないだ。また、来らせしらさぎについてはサロンはコロナで延期になったものの、屋外で避難者に物品配布を行っており、その場と中継でつなぐことができた。

※しかし、これまで企画する際に開催していた当事者団体との実行委員会は設けることができず、クイズを当事者団体に考えていただくなど限定的な企画への関わりとなった。

<概要>

- ・日時：2022年3月4日（金）10時30分～11時40分
- ・場所：各サロンおよびオンライン（Zoom）
- ・内容：音楽鑑賞、各地の交流会の紹介、クイズ大会
- ・参加者：72名（うち、避難者31名、支援者・連絡会41名）

②これまでの広域交流事業を振り返る冊子の作成

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、広域での交流会事業ができていない。そこで、これまでのつながりを実感するための取組みとして、過去実施してきた交流会を冊子にまとめ、避難者や関係団体に配布した。また、冊子をダイジェスト動画にまとめ避難者や関係団体に送付した。

<概要>

- ・タイトル：ともに歩んだ広域避難者の交流会 11年のふれあいを心に込めて
- ・印刷部数：700部
- ・送付先：避難当事者団体、東京都、岩手県、宮城県、福島県、東京都社会福祉協議会、都内区市町村社会福祉協議会／ボランティア・市民活動センター、全国の避難者支援団体など

(4) 広域避難者支援ミーティング in 東京の開催

- ・避難者支援団体や避難当事者団体の交流、連携を促すための情報交換の場を提供し、様々な支援手法・アイデアの共有を通して、避難者支援団体によるさらなる支援の充実・工夫を図るため、支援団体を対象としたオープンミーティングを実施した。

○第21回広域避難者支援ミーティング in 東京

- ・日時：2021年6月3日（木）13時30分～15時30分
- ・場所：ハイブリッド開催（東京ボランティア・市民活動センター会議室／Zoom）
- ・内容：①情報提供1：被災3県行政による関連制度の情報提供
②情報提供2：災害復興まちづくり支援機構（司法書士）による情報提供
③意見交換・情報交換
- ・参加者：21団体26名

○第 22 回広域避難者支援ミーティング in 東京

- ・日時：2021 年 9 月 29 日（水）13 時 30 分～15 時 30 分
- ・場所：ハイブリッド開催（東京ボランティア・市民活動センター会議室／Zoom）
- ・内容：①「コロナ禍における避難者の状況」 話題提供：NPO 法人えひめ 311 澤上幸子さん
②意見交換・情報交換
- ・参加者：20 団体 31 名

（５）避難者・避難者支援についての市民への周知

- これまでに連絡会で作成したチラシ等を活用したり、当事者団体へのインタビュー等により、避難者のことや避難者支援を知っていただくための動画の作成を行った。

<作成した動画>

- ・避難者についての説明動画
- ・10 年経った今直面している問題（土地・財産・建物について）
- ・当事者団体の活動紹介（むさしのスマイル）概要版、Chapter1, 2, 3

- また、広域避難者支援連絡会 in 東京の Youtube チャンネルを新たに開設し、作成した上記の動画を公開した。

（６）情報発信

①メルマガの配信

- ・避難者支援団体の取組み情報を収集し、配信した。

<実績>

- ・配信回数：13 回
- ・内容：地域でのサロン情報、法律相談、就職相談会情報、イベント情報、原発賠償説明会の情報、都営住宅募集情報等
- ・メルマガ登録アドレス数：2021 年度末：128 人（2013 年度末：43、2014 年度：86、2015 年度末：95、2016 年度末：99、2017 年度末：106、2018 年度末：118、2019 年度末：117、2020 年度末：121）

②ホームページでの情報発信

- ホームページでの情報発信を行った。

（７）勉強会の開催

- ・広域避難者支援連絡会 in 東京の構成団体や当事者団体を対象とした、広域避難者支援に関する勉強会の実施を行った。むさしのスマイルより情報提供のあった NHK の FM シアター「はるかぜ、氷をとく」を当事者・支援者と一緒に聞く場を設けた。

- “はるかぜ、氷をとく”をいっしょに聴く会

日時：2021 年 5 月 21 日（金）13 時 30 分～15 時 15 分

場所：オンライン／東京ボランティア・市民活動センター10 階 A/B 会議室

参加者：当事者団体 3 団体 7 名、支援団体 10 団体 13 名

（８）ネットワーク作り

①避難当事者団体とのバディ制の実施

- ・各避難当事者団体につき、連絡会の構成団体が情報収集等を担当するバディ制を実施した。

②全国・他県の支援団体とのネットワーク強化

- ・全国域のミーティングへの参画、研修への参加を行った。

<実績>

- ・Voicefrom3.11 実行委員会への参画ならびに事務局の担当（次ページに詳しく記載）

③東京都内の支援団体連絡会への参加

- ・今後の避難者への関わりを検討するため、都内の様々な情報共有会議等への参加を通して、行政や民間団体の支援情報の収集を行った。なお、東日本大震災支援全国ネットワーク地域巡回員を受託し、地域巡回員の事業としても実施した。

<実績>

- ・北多摩北部ブロック社会福祉協議会避難者連絡会への参加
- ・東京都社会福祉協議会 孤立化防止事業連絡会への参加
- ・都内避難者相談拠点情報共有会議への参加

④講師対応

- ・今年度、講師対応はなかった。

Voice from 3.11～わたしたちの思いと願い～ への参加

「Voice from 3.11～わたしたちの思いと願い～」は、東日本大震災10年を機に、被災者・避難者、また心を寄せた者が改めて震災を広く考える機会とし、惨劇を繰り返さないために、多くの方と共に考え、震災での教訓・気づきを、次の世代につなげ、社会化していくことを目的としたプロジェクトです。

本プロジェクトに、広域避難者支援連絡会 in 東京も実行委員として参加するとともに、事務局を担いました。本プロジェクトでは、具体的に次の3つの取組みを行っています。

①ことばの集い

- ・これまでの思いやこれからの願いを「ことば」として集め、WEBサイトで発信

②みんなの集い／それぞれの集い

- ・3.11 ことばの集いで集めた「ことば」から大切なことを紡ぎ、多くの人と噛みしめる場

③つながりの集い

- ・特定の地域の日を設けて、オンラインでその地域の住民や支援団体、その地域に関わった支援団体、企業、ボランティア等が集まれる場

④これからの集い

- ・下記まとめた宣言を紹介する場、また、東北の被災者、避難者、支援者、ことばの投稿者と一緒に、東北のこれからについて考える場

⑤宣言の作成

- ・ことばの集い、みんなの集い／それぞれの集い、つながりの集いの様々なことばやそれに基づく実行委員の「気づき」をベースに宣言「ことばから紡いだ わたしたちの宣言」を作成

Voicefrom3.11 実行委員会は、すべてのプログラムを終了し、役割を終えたことから、2022年4月末解散。